



広報

加しき

第134号

43. 3. 15発行

発行所 加治木町役場
 発行者 曾木隆輝
 担当者 向江巧
 編集者 中元邦夫
 印刷所 吉屋印刷所

全ご家庭に、もれなく配布



春の訪れ

やよいの三月を迎えて、ようやく冬の寒さから解放され、わたしたちの生活が明るく楽しくなつてきます。それはやがてやってくる陽春の花の季節への期待があるからでしょう。

とはいえ、この三月は受験、進級、進学、卒業、就職などの準備で、子どもを中心とする雑事が多く、主婦は心労の多い月でもあります。たまには、お天気のよい日家族づれで戸外へ出て、つみ草などいかがでしょう。せり、たんぽぽなどをつんで帰り、おひたしにすると春のにおいが満喫できます。

加治木の春はやはり、初市からでしょう。

ことは二日間とも好天気に恵まれ、町内外からたくさんの方が町にあふれました。

とくに綱掛橋の掛け替え工事のため、ひっそりとした西町付近は数か月ぶりに、もとのにぎやかさにかえったようです。

橋の完成もあとしばらくということですが、これが完成しますと、また加治木の名物の一つふえそうです。新しい時代にマッチして造られる大きな橋は、加治木の発展のために、これから大いに活躍してくれることでしょう。

(売り込みの声につい誘われて……初市から)

職員のベープスなど可決

特別職
議員等
もこんどはアップ

臨時第1回町議会

昭和四十三年の第一回臨時町議会は、さる二月十七日から二十一日まで、町議事堂で開かれました。こんど提出された議案は、国家公務員に準じて支給する職員の給与などの追給分（ベープス、アップによる差額）がおもであります。

このほか、昨年の六月（定例第二回）の議会に提出され、引き上げは妥当でないとして当分、現況にとどめ見送りとなっていた、特別職（町長、助役、収入役、教育長）の給与と議員、農業委員、教育委員の報酬の改正が提出され、それぞれ可決しました。

この改正の時期については、十二月（職員は八月から）にさかのぼることに決めました。特別職等の給与、報酬の改正については、さきに特別職報酬等審議会を設け、広く民間からの意見を聞き、その審議会の答申にもとずいて改正案を提出したものです。

こんどの補正予算額は、一般会計で九百三十三万二千円を追加し、予算累計は三億六千三百二十九万六千円となりました。

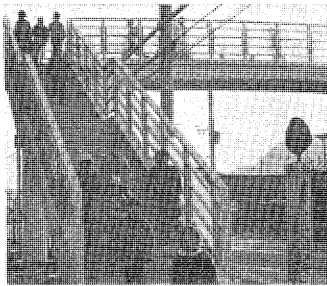
また上水道特別会計も百五十九

職名	旧	新
町長	九〇、九〇〇円	一〇五、〇〇〇円
助役	六八、九〇〇円	八三、〇〇〇円
収入役	六〇、三〇〇円	七五、〇〇〇円
教育長	六〇、三〇〇円	七五、〇〇〇円
副議長	二二、五〇〇円	二七、〇〇〇円
常任委員長	一八、五〇〇円	二二、〇〇〇円
議員	一六、〇〇〇円	一九、五〇〇円
教育委員長	一五、〇〇〇円	一八、〇〇〇円
委員	六、〇〇〇円	六、五〇〇円
農業委員長	三、五〇〇円	四、〇〇〇円
委員	七、〇〇〇円	七、五〇〇円
議員	四、五〇〇円	五、〇〇〇円

よろこんだ子どもたち 安心して歩道橋から通学

錦江小前の国道に歩道橋ができました。国道事務所では、通学の児童、生徒たちを車から守るために、歩道橋の建設を急いでいました。が、さる一月りっぱにできあがり、子どもたちは安心して通学しています。

この付近は最近、車の往来がますます激しくなり、とくに登校、下校時は道路を横断する間がないくらいであり、歩道橋の設置が望まれていたものです。



橋ができたから安心だよ

「広報かじき」コンクールで入選 中元・向江両係りにも賞状

加治木町の「広報かじき」はさる二月初め県広報連絡協議会主催の市町村広報紙のコンクールで入選しました。

二月二十二日、指宿市で行なわれた県広報研修大会の席上加治木町と、この活動に永年の功績のあった中元邦夫公民館長及び広報写真の部長と特選になった向江巧文書係長にそれぞれ賞状と記念品が知事から贈られました。

ことしの花見は ぜび町営温泉で



高台の公園から滝の全景

町内の老人クラブや農村青年建設班など各有志のかたがたの記念植樹とご寄贈によって、町営温泉附近には多くの花木が植えられ、春ともなれば桃や桜が一せいに花を開き、桃源境にはいった感じがします。

錦水公が建てられた観音像のある公園にのぼれば、滝のながめがまた格別です。

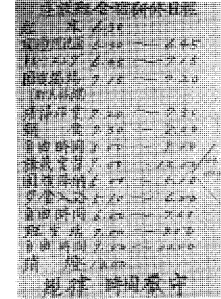
ことしの花見は、花と滝と温泉の町営温泉にぜびおいでください。



農村建設班が合併研修

新しい農業経営を勉強

二月十五日、町農村青年建設班（班員十八名）の合併研修の閉講式が町営温泉で行なわれました。ことし二期生として建設班にはいった十八名は、一月十七日から二月十五日まで約一か月、寝食をともにして共同生活をしたわけですが、ちょうど悪い「かぜ」がはやっていたので、研修の合い間に同僚の看病をするなど、貴重な体験を味わいました。

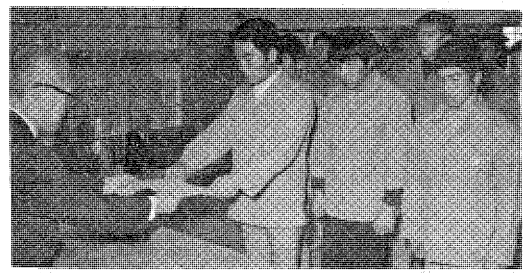


朝から夜まで
ギッシリつまった日程

班員たちは、専門の講師から一般教養、農政全般、機械実習、体育などについて平均二百五十時間の研修を受けました。班員たちの

近代農業に向かって努力している先輩たちにおくれぬよう、習得した研修内容、体験を活して、

ノートに書いた夢が実現するよう期待したいものです。



町長から修了証書を受ける班員

上京みやげばなし

町長 曾 木 隆 輝

一、新年度予算のこととて、犬童議長と二月初め上京しました。とくに来年度の重点事業の公民館建設のことで何かと早めに手をつくしておく必要がありますので、ふたりであちこちかまわりました。その結果、一応の手がかりはつかめたように思われますが、町の三月議会がすんでから県

二、道路改修に必要な機械を備えるための補助をもらうことを労働省に陳情しました。これは実現するものと見当をつけました

三、潜在中、鶴ヶ嶺の引退の断髪式があって、参列しました。また、急に東京の加治木出身者の集りが行なわれ二月六日午後蔵前工業会館で、埼玉、千葉、神奈川県におられるかたがたも、三十名近くが馳（は）せ参じ町政についていろいろ意見の交換がなされました。

鶴ヶ嶺の断髪式に参加して

二月五日東京国技館で、鶴ヶ嶺の断髪式が、一万数千のファンの見守るなかで、盛大かつ厳粛に行なわれました。

玉川学園の学生生徒三千名あまりの「栄光あれ」の大合唱について、稲山八幡製鉄社長（鶴ヶ嶺後援会長）、迫水参議（井筒部屋後援会長）などのあいさつのもと、土俵のまん中に、羽織はかまで椅子にこしかけた一世の名力士鶴ヶ嶺の髪に、政、財、学界及び芸能人や全国各地の後援会の代表など百

人あまりが、ひとりひとり進んでハサミをとりました。岸元首相、金丸知事、曾木町長、犬童議長、犬童伝さんたちもそのひとりでした。

引退して君ヶ浜親方を襲名したわけですが、鶴ヶ嶺は終始、目をつむって息づかいもはげしく大きな胸がゆれていました。万感もども至るとはこのことでしょう。とにかく、体重はそうすぐれていなくても、技と根生で数々の記録をつくり名声をはくした彼は、郷土のためにも大きな誇りであります。今後とも元気で後進の指導に当たってもらえし、協会の審判員にもおされていきます。

東京の加治木会

上京中の町長、議長の歓迎会をかねて、二月六日東京加治木会が開催されました。急な手配でありましたが、埼玉、千葉、神奈川県におる人たちが集まり、町長、議長から加治木の現況報告のあと、意見の交換がなされました。出された意見の主なものとは次のとおりです

○教育に可能な限り力を注ぎ、人材をつくってほしい。特に根生のある青年、しっかりした人物をつくるよう望む。

○企業をドンドン誘致して、活気のある町にしてほしい。

○観光の開発に努力してもらいたい。

○狭い考え方でなく広域行政を考へ、町村合併を早くやって、市制をしくようもって行ってほしい。…などでした。

なお、当日の出席者は次のとおりですが、会社の重役方や公務員先生などもあって、普通の日であり、しかも午後をすっかりつぶしてもらって、熱心な意見が出て、在外者の郷里を思われる情熱もうかがわれました。

- 出席者（順序不同）
- 園田静夫（社長、横浜、加治木会会長）
 - 立山慶二（社長、日商議員東京）
 - 大迫善蔵（社長、東京）
 - 川原勝（新聞、東京）
 - 川野辰男（会社、土浦）
 - 獄久（商業、東京）
 - 飯屋園盛一（建設社長、東京）
 - 高橋静熊（商業、東京）
 - 吉井繁（社長、東京）
 - 吉井英二（画家、東京）
 - 法元盛耕（社長、東京）
 - 法元六郎（高校教師、埼玉）
 - 岩崎布衣（会社、東京）
 - 園田和裕（会社、東京）
 - 長谷場純一（市役所、川崎）
 - 柳迫富士夫（社長、藤沢）
 - 白尾千城（電々公社、千葉）
 - 岸野吉（会社重役、川崎）
 - 桑幡健（会社重役、東京）
 - 桑幡常通（技師、東京）
 - 東車夫（市役所、川崎）
 - 漆間隆二（会社、東京）
 - 有村優吾（土建社長、東京）
 - 中山典昭（県職、東京）
 - 老山政長（会社、埼玉）
 - 松田昇（社長、茅ヶ崎）

わたしたちは、ちよつとのスキを、いつもねらっています。

ドロボウと火の子

これからは夫婦で勉強ダ

近代農業に とり組む 新婚グループ

このほど町営温泉の飛龍閣の玄関へ軽トラックに乗った若夫婦が七組それぞれ乗りつけました。
この若夫婦たちは、これからの近代農業を進めるために夫婦連れで集まり、お互い勉強して行こうというグループです。
七人のお婿さんたちは、昨年の町農村青年建設班の研修を終えた一期生で、研修の合間に励ました合い将来の夢を語り合った仲です。研修期間だけの仲間ではいけない。研修後もずっと親交を深め続け、話し合いの場をもとうと、独身同志の堅い約束がこのほど実を

結んだものです。「農家には嫁に来てがない」と嫁キキンで悩んでいた仲間もつきつぎに結婚へゴールイン、このグループの発会式？となったものです。
会の名も「みのり会」と町長が命名して、会長に西別府の西村勝(28)さんを選びました。副会長兼会計係には「サイフ」のやりくりもあるからと、いうことで山口タカ子さんが決まりました。お婿さんの「サイフ」も自然とお嫁さんに渡るのも間近なことでしょう。会員たちは、まるく輪をつくつてすわり、自分のお嫁さんを紹介



春のひざしを受けて話しがはずむ

しあい、なごやかなふんいきの中で今後の計画などを決めました。三月には早速お互いの家庭を訪問し、家庭生活、農業経営などについて話し合うということです。今後の「みのり会」グループ員の活躍に期待をもちたいものです。

香典返しを寄付

社会福祉協議会へ

香典お返しのかわりにご寄付をいただきました。厚くお礼申し上げます。

- 金額 御遺族 故人
- 二千元 毛上 溝口キヨ(義母モト)
- 三千元 市野 神園 進(父次郎)
- 千五百円 天神 有馬正次(叔母 榮)

- 二千元 毛上 藤田フヂエ(父藤一郎)
- 三千元 田中 池端ひで(長男清俊)
- 五千元 田中 岩屋 繁(母、ケサ)
- 五千元 田中 大園イキ(次男啓人)
- 二千元 田中 穂満ヒデ(夫、満二)
- 五千元 上木田 穂満ヒデ(夫、満二)
- 五千元 萩原 市来靖弘(父、政友)
- 三千元 諏訪 曾木瑞枝(養母ハギ)
- 五千元 札立 有川辰夫(義母、犬重秀清 向江ハル)
- 五千元 天神 木谷ツル(夫、清信)
- 五千元 諏訪 犬童アキ(次女徹恵)
- 三千元 中福良 豊村精助(妻、アイ)
- 一万円 桃木野 梅木 操(母ケサミツ)
- 一万円 田中 田口勝三郎(養母タネ)

町育英奨学資金へ

一万円 吉原 浜屋敷国雄

千円 諏訪 曾木瑞枝
○二月二十九日までのご寄付を掲載しました。

生活設計

みなさんの簡易保険は「万一の場合の準備」だけでなく、あとに残る家族のかたの生活と、お子さまの教育をするための「収入の確保」をするものです。

ところで、みなさん(加入者)から払い込まれた保険料は簡保資金として、地方公共団体や政府関係機関等へ融資されます。この簡保資金は、りっぱな学校、住宅、道路、橋などを建設するための資金として利用され、身

簡易保険新加入運動

1月から3月まで

故中摩直一氏に叙勲

いま、郵政省が中心となって簡易保険新加入運動をすすめておりこの運動には大蔵省、文部省、自治省等が協力しています。

明治百年のめでたい年を記念して、ますます郷土が発展するために、この運動にご協力ください。

当町反土の中摩直一氏は、さる一月二十日七十五歳で死亡されましたが、鹿大法科卒業後、弁護士として四十七年余活動し、その間町議、県議、鹿児島市会議長等を歴任、加治木町公平委員、社協心配こと相談所協力員などをつとめ県立加治木高校プール水源を寄付するなど、本町の長老として社会のため貢献するところ少からず、町は県を通じ叙勲方を要請していたところ、二月十七日付で従五位敷四等瑞宝章を贈られました。

明治百年記念講演会

- △ 講師 海音寺潮五郎先生
 - △ 場所 柘城小講堂
 - △ 時間 四月八日(月) 午後二時から
- ◎多数お集りください。

税の相談日

毎月「5」の日は税の相談日です。無料で相談に応じています。国税のことならどんなことでも税務署へご相談ください。